

エコパークかごしま安全監視委員会による第2回施工状況調査について



公社職員から説明を受ける参加委員

6月3日、エコパークかごしま安全監視委員会による施工状況調査が行われました。前回の昨年8月に続き、今回が2回目となり、委員長の平田登基男鹿児島工業高等専門学校名誉教授をはじめ8名の委員が参加されました。

調査終了後、平田委員長は、「工事は順調に進められている」などとコメントされました。

地域振興策の実施状況について



県道百次木場茶屋線

← 旧国道3号線 →

着工直後

← 旧国道3号線 →

供用開始後

整備地

県道百次木場茶屋線については、旧国道3号からのバイパス区間（約400m）の工事が6月に完成し供用が開始されました。

今後とも、地域振興策の円滑な実施に取り組んでまいります。

問い合わせ先
 ○公益財団法人鹿児島県環境整備公社 〒895-8501 薩摩川内市神田町1番22号 電話 0996-21-1220
 ○鹿児島県環境林務部廃棄物・リサイクル対策課 電話 099-286-2650
 ※この「環境整備公社だより」は、当公社ホームページ(<http://www.ep-kagoshima.or.jp/>)にて閲覧いただけます。

環境整備公社だより

VOL. 10

平成25年7月
 鹿児島県
 公益財団法人鹿児島県環境整備公社

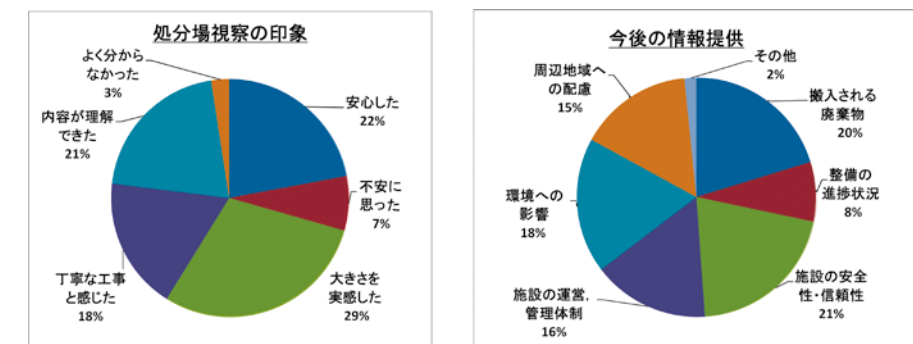
薩摩川内市民による現地視察について

5月1日、エコパークかごしま（仮称）整備地において、関係自治会員をはじめ薩摩川内市民約120名の方々が午前・午後の2回に分かれて、北側上段部及び底部から貯留構造物、浸出水処理施設、覆蓋施設の柱の基礎などの施工状況について視察されました。参加者からは視察の印象として「施設の大きさを実感した」、実際に工事を見て「安心した」などの回答が多く寄せられました。



現地視察の状況

薩摩川内市民を対象とした視察に関するアンケート結果



（視察参加者数・アンケート回収数 124件）

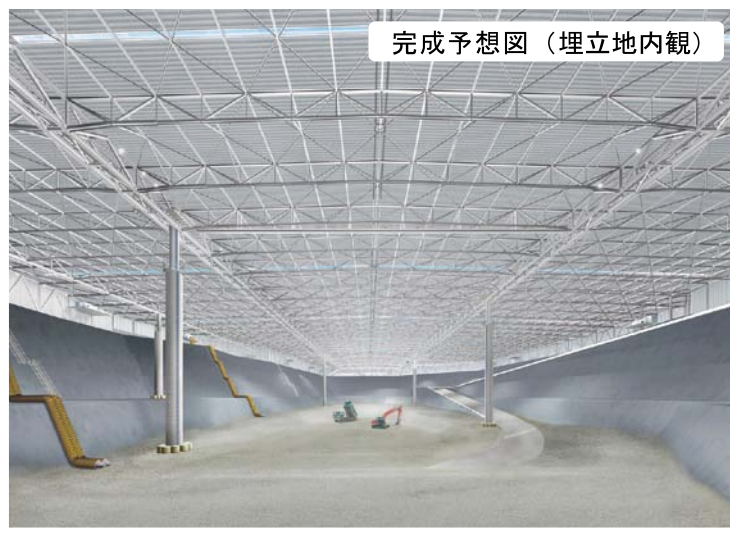
エコパークかごしま連絡協議会について

第12回エコパークかごしま連絡協議会を5月30日に開催しました。公社からは、処分場工事の進捗状況等について、薩摩川内市と県北薩地域振興局からは地域振興策の進捗状況等についての説明が行われました。

エコパークかごしま（仮称）整備工事現場作業の状況



完成予想図（鳥瞰）



完成予想図（埋立地内観）



覆蓋施設外周基礎工事

覆蓋施設は、雨水の埋立地内への流入や粉じん、臭気の周囲への飛散及び拡散を防止するとともに、計画的な散水により、廃棄物の早期安定化に効果を発揮できるもので、埋立地内に5本の柱の基礎工事が

完了し、現在、埋立地外で屋根を支える柱の基礎工事を実施しており、順次、南側から屋根工事を進めています。



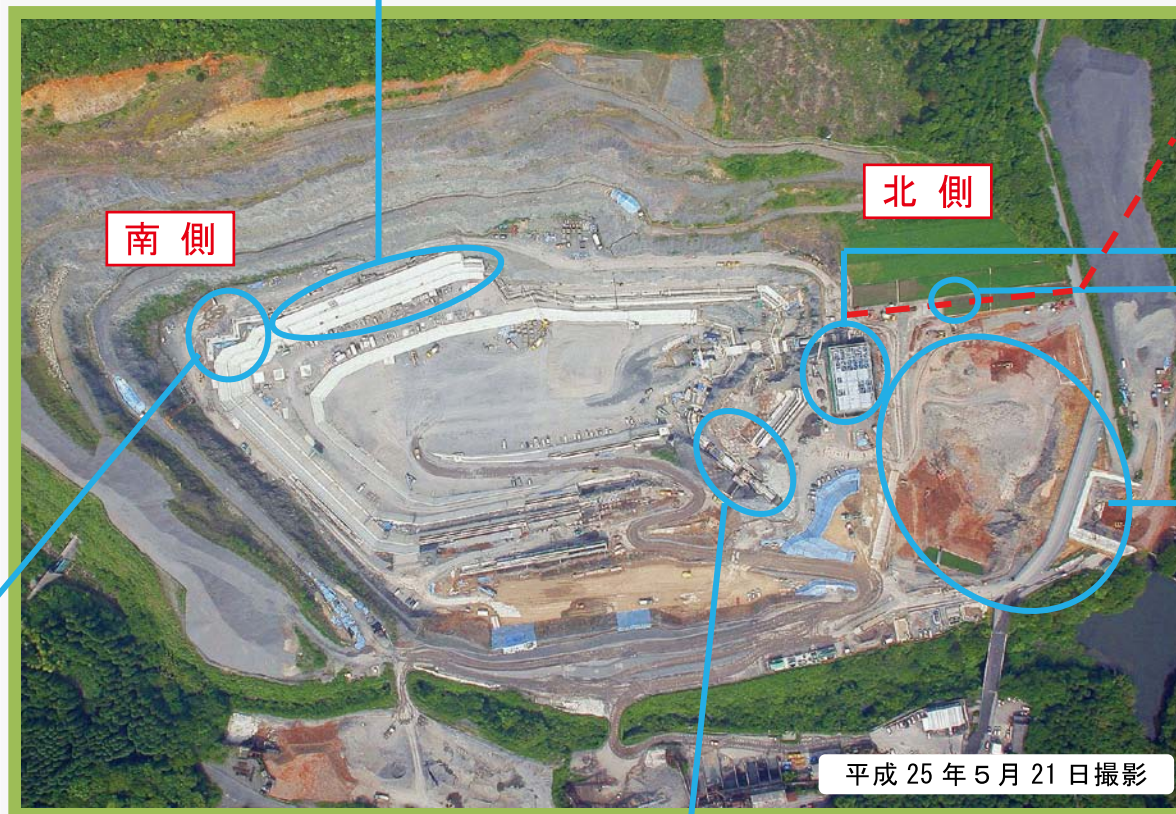
貯留構造物工事（南側コンクリート擁壁）

南側の貯留構造物は、ほぼ完成しており、遮水シートが安全に施工できるようにコンクリート表面を滑らかにする工事を進めています。



貯留構造物工事（北側コンクリート擁壁）

北側の貯留構造物は、点検用通路工事と調整を図りながら工事を進めています。



平成 25 年 5 月 21 日撮影



浸出水処理施設工事

浸出水処理施設は、廃棄物に触れた浸出水を処分場内で循環利用する水質になるまで処理する施設で、柱や梁等の鉄骨工事が完了し、処理設備の据付けを行っています。

今後も建物の内外装及び浸出水処理設備の工事を進めていきます。



地下水集排水施設工事

地下水放流管は、延長470mを、一度に掘削できないため、深さ3～39mの竖穴を掘削後、横方向へ掘削する工法により施工しています。



防災調整池工事

防災調整池は、掘削工事が完了した箇所から法面工を実施しており、年内には掘削、法面保護、放流施設等の工事を完了する予定です。



点検用通路工事



点検用通路は、浸出水や地下水の水質を監視するため、地表部から約40m下に移動するためのもので、現在、貯留構造物工事と調整を図りながら工事を進めています。